

どくさんと コミュニケーション

伊勢志摩サミット

Vol.112



来年のサミットが伊勢志摩で開催されることが決まりました。本当に良かったと思いました。多くの候補地の中から伊勢志摩を選んでいただきたいということで、安倍総理はじめお世話になつた方々に、お礼を言いたいので一緒に上京してほしいと、知事から三市一町の首長に要請がありました。その日は伊勢市長、志摩市長、南伊勢町長は三人とも都合が悪く、一人も行けないということでした。これでは知事に申し訳ないと考え、一般質問の打ち合わせという大事な仕事をキャンセルして同様にいました。安倍総理、菅官房長官、山谷国家公安委員長、斎木外務事務次官、谷垣自民党幹事長、そして山口公明党

代表など数多くの要人にスムーズに会つてきました。さすがに知事が会いに行かれると違うなと感じました。私たちだけではこうはいきません。開催地が決定されるまでの経緯については、いろいろと取りざたされました。一番初めに入ってきた情報は、閣僚会議の誘致に手をあげていた三重県に対し国のはうからサミット誘致に切り替えるように言つてきたから、間違ない伊勢志摩が有利だというものがでした。その後、軽井沢、広島、神戸などが次々と有力地として名があがつてきました。伊勢志摩では自信から安に変わりつつあるように感じていましたが、そんな時、発表があり、みんながほつと

新聞では賢島サミットという文字もすでに踊っていましたが、賢島では知名度も低いし、鳥羽や伊勢も困るなど感じていました。伊勢志摩サミットが正式名と決まってからも、鳥羽の名がでてこないと、よぐり意見をもらいますが、これは仕方ありません。これまで伊勢志摩国立公園という呼び名の中で、鳥羽という文字は出てこなくともここまで頑張つてきたわけですから、今回も鳥羽からの情報発信をしっかりとやろうと考えています。

みなさんは、アウェアネス・リボンをご存知ですか。アウェアネス・リボンとは、輪状に折った短い一片のリボンやそれを描いた絵などのことで、それを身に付けることで社会問題や運動に、さりげない支援や賛同の声明を出す方法として世界各地で使用されています。

リボンの色にはさまざまなものがあり、有名なものとしては、ピンクリボン（乳がんの予防・啓発）やレッズリボン（エイズの理解・支援）、オレンジリボン（児童虐待防止）です。

リボンの色と意味は国内外でさまざまであります。ブルーリボンは、インターネットでの言論の自由の支持・擁護ですが、日本では、北朝鮮による日本人拉致問題被害者の生存味があります。

このリボンの特徴として、障がいを持つ当事者は小さな赤いハートマークがついています。また、リボンには、サン・テグジュペリの『星の王子』の一文『大切なものは目に見えない』が書かれています。このリボンは、「何かをしてほしい、配慮してほしい」ではなく、「障がいを抱えていることを職場や学校で言えないでいることを知つてしまい」「コミュニケーションのきっかけになれば」という思いだそうです。

みなさんの周りでも、目に見えない障がいを持つた人が苦しんでいるかもしれません。理解することは、人にやさしくできる、はじめの一歩だと思います。



Vol.139

したというわけです。知事が総理から直接聞いた話では、伊勢志摩と仙台の間で悩んだということでした。総理は伊勢神宮に大きな思い入れがあり、決定打は神宮の存在であると、私は感じました。

開催地が発表される直前、総理から知事に電話があり、伊勢志摩に決まつたことと、正式名はどうするかという問い合わせがあつたそうです。

私は、このままでは分から

ない病気や障がいで、日常生活を送ることが困難な「見え

ない障がい」に苦しむ人たち

を支援・協力することを目的に作られました。

このリボンの特徴として、

障がいを持つ当事者は小さな

赤いハートマークがついてい

ます。また、リボンには、サ

ン・テグジュペリの『星の王

子様』の一文『大切なものは

目に見えない』が書かれてい

ます。このリボンは、「何か

をしてほしい、配慮してほし

い」ではなく、「障がいを抱え

ていることを職場や学校で言

えないでいることを知つてしま

い」「コミュニケーションのきっかけになれば」とい

う思いだそうです。

みなさんの周りでも、目に

見えない障がいを持つた人が

苦しんでいるかもしません。

理解することは、人にやさしくできる、はじめの一歩だと

思いませんか。